

# ニジマスの廃棄部位から堆肥づくり 地元高校生が開発し商品化

## 富士宮高校会議所「マスマス元肥を使って、 富士宮をマスマス元気に!!」プロジェクト

富士宮市には、市内の高校生が集まり地域活性化プロジェクトに取り組む「富士宮高校会議所」という団体があります。彼ら  
が取り組んだのが、富士宮市特産のニジマスの廃棄部位を使っ  
た堆肥づくり。富士宮市はニジマスの養殖量日本一を誇りますが、  
その分加工の際に出る廃棄物も多く、その量は毎月約20ト  
ン!これを有効活用すべく、地元の朝霧牛の糞尿と混ぜ合わせ、  
有機堆肥「マスマス元肥」として商品化しました。川魚による堆  
肥許可(普通肥料の生産には、農林水産大臣の登録許可が必要)は日  
本初のことです。



このプロジェクトにか  
かわった高校生と協働  
パートナーのみなさん。  
完成した「マスマス元  
肥」。パッケージデザイン  
の作成および商標登録  
は高校生自身が行った。

### ここがパートナーシップのチカラ!

#### 市内の学校、農家、菓子店などと協力して 持続可能な社会づくりに挑戦

堆肥は、地元の有機堆肥メーカーの協力を得て開発。完成した堆肥は市の農協や高校に  
依頼し、特産の落花生栽培に使われ収穫量が増加しました。また、市内の耕作放棄地での  
野菜や花栽培を通じて地産地消の推進、食料自給率アップの啓蒙、新たなブランド化を目  
指しています。地元の菓子店と収穫物を使ったスイーツを開発するなど、ビジネスへのチャ  
レンジも。市内小学生に向けた夏休み自由研究講座、SDGs コンテストの主催など、地域で  
SDGs への理解を深める活動もしています。



「マスマス元肥」を使って耕作放棄地を  
よみがえらせるチャレンジ。



「マスマス元肥」を使っ  
た落花生スイーツ「森  
林限界を越えて」は、  
富士宮で行われた竜  
王戦おやつ選びコン  
テストの最終候補に  
も選ばれた。

堆肥をつくるだけでなく、  
広める工夫もすごいね!  
落花生スイーツ、  
私も食べてみたいな~!

